

※各美術館・博物館等では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開館しており、来館いただいた方には、マスク着用や検温、利用者名簿の作成などへのご協力をお願いしております。

## 道立近代美術館 4月事業のご案内

### ▼特別展「藤沢市所蔵 招き猫亭コレクション 猫まみれ展MAX」【有料】

期 間：2月27日（土）～4月4日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室B

内 容：江戸時代の浮世絵師・歌川国芳から、現在活躍する横尾忠則や山本容子まで、個性豊かな作家たちの猫愛あふれる作品をたっぷりご紹介いたします。

観覧料：【平日：日時指定不要券】一般1,100円、高大生600円、小中生300円

【土日：日時指定券】一般1,300円、高大生700円、小中生400円

※この料金以外に、当日会場販売券料金等があります。詳細は、猫まみれ展公式ホームページ (<https://nekomamire-max.jp>) をご参照ください。

### ▼特別展「日本浮世絵博物館秘蔵 国貞 広重 国芳 コレクション ～絵師たちが見た江戸の楽しみ～」【有料】

期 間：4月17日（土）～6月20日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室B

内 容：10万点を超える日本最大級の浮世絵コレクションを誇る日本浮世絵博物館（長野県松本市）。同館コレクションの中から、歌川国貞・広重・国芳ら江戸後期の浮世絵師たちが描いた、江戸庶民の「楽しみ」の世界を紹介します。

観覧料：一般1,500円、高大生800円、小中生600円

※この料金以外に、団体料金や近美コレクションとの同時観覧料金等があります。詳細はお問い合わせください。

### ▼近美コレクション（展覧会）【有料】

期 間：2月27日（土）～4月4日（日）

場 所：道立近代美術館 展示室A

展覧会名

#### ○「池田良二展 一原有徳展」

内 容：現代日本版画を代表する北海道ゆかりの二人の版画家の作品をそれぞれ個展形式で紹介いたします。

#### ○「日本のガラスー江戸から現代までー」

内 容：当館の所蔵品を通じて、日本のガラスの歩みをたどります。

#### ○「この1点を見てほしい。」

内 容：5,000点以上の当館コレクションの中から1点を選び、多角的な研究を通

して作品の奥深い魅力をご紹介します。  
今回の1点は【岩田藤七《水指・花》】

▼近美コレクション【有料】

場 所：道立近代美術館 展示室A

期 間：4月17日（土）～7月4日（日）

展覧会名

○コレクション・ストーリーズ「北海道の美術」

内 容：明治時代末に活躍した洋画家から、現代のアートシーンを彩る美術家まで、本道ゆかりの作家の豊かな創作活動の一端をご覧ください。

○コレクション・ストーリーズ「現代ガラス」

○「新収蔵品展」 ※ 5月23日まで

内 容：横山大観「秋思」ほか、令和2年度の新収蔵品を紹介します。

○「この1点を見てほしい。」

内 容：5,600点以上の当館コレクションから学芸員が1点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力をご紹介します。

今回の1点は【山本正年《膚》1966年】 ※ 5月23日まで

近美コレクション（展覧会）観覧料：一般510円、高大生250円

※この料金以外に、団体料金などの割引・減免があります。詳細はお問い合わせください。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

▼「近美コレクション」ギャラリー・ツアー【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：ボランティアが近美コレクションを解説します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：火～土曜日 11：30～12：00（展示室A 1階）

13：00～13：30（展示室A 1階）

14：00～14：30（展示室A 2階）

※休館日、祝日を除く。

▼「近美コレクション」ミュージアム・トーク【有料／近美コレクション観覧料】

内 容：学芸員が作品について講話します。

場 所：道立近代美術館 展示室A（「近美コレクション」展観覧券必要）

日 時：4月4日（日）、18日（日）、25日（日）

各日14：00～（約30分）

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（入場は16：30まで）

4月の休館日：5日（月）～16日（金）、19日（月）、26日（月）

【お問合せ】

北海道立近代美術館（〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目）

電話011-644-6882（総務企画部総務企画課）

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/>

## mima 北海道立三岸好太郎美術館 4月事業のご案内

▼所蔵品展「エキゾティック・イメージー上海から道化へ」（後期）【有料】

期 間：3月4日（土）～4月11日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室1-5

内 容：札幌生まれの三岸好太郎（1903-34）は、日本の近代洋画史を彗星のように駆け抜けた画家です。23歳での中国旅行は、ロマンティストとしての本質を目覚めさせ、「道化像」を生み出すきっかけとなりました。独自の表現を切りひらいた20歳代後半までに焦点をあて、変貌の軌跡を探ります。

○同時開催 スポット展示「《赤い服の少女》が絵本になった！」

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室6、7

内 容：《赤い服の少女》（1932年 油彩・キャンバス）は、三岸好太郎の友人である画家・本間紹夫の次女を描いた当館の人気作品です。当時の関係資料などから、制作秘話を紹介するとともに、本展に合わせて制作したミニ絵本「おぼけのマーブルとあかいふくのしょうじょ」の原画をパネル展示します。

▼所蔵品展「色彩と衝動ー人物画を中心に」【有料】

期 間：4月24日（土）～6月13日（日）

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室1-5

内 容：「赤色は激情、青色は冷徹、黄色は強靱なる意志力」。三岸は色には感情に訴える強い力があると語っています。本展では人物画を中心に色と筆のタッチに注目しながら、作品の魅力に迫ります。

○同時開催 「描かれた南部忠平」

場 所：道立三岸好太郎美術館 展示室6、7

内 容：南部忠平（1904～1997）は、札幌出身でロサンゼルスオリンピック（1932）の三段跳金メダリスト。三岸が描いた南部の勇姿とともに、関連資料を紹介します。

観覧料：一般 510円、高大生 250円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や道立近代美術館「近美コレクション」展と併せてご覧いただく場合の割引料金があります。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

4月の休館日：1日（木）～3日（土）、5日（月）、12日（月）～23日（金）、  
26日（月）

【お問合せ】

mima 北海道立三岸好太郎美術館（〒060-0002 札幌市中央区北2条西15丁目）

電話 011-644-8901 テレフォンサービス 011-621-7000

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/mkb/>

## 道立旭川美術館 4月事業のご案内

### ▼特別展「歌川広重 二つの東海道五拾三次」展【有料】

期 間：4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立旭川美術館 第1展示室

内 容：江戸時代の浮世絵師・歌川広重（1797-1858）の代表作である「東海道五拾三次」。そのうち最もよく知られている「保永堂版」（1833-34年刊）と、十数年後に刊行され、同じ宿場を季節、時間、天候などを違えて描き出した「丸清版」（1847-51年刊）を同時に展覧することで、庶民が東海道に抱いた憧憬と、時代の要請に敏感に反応した広重の実像に迫ります。

観覧料：一般 1,000円、高大生 600円、小中生 300円

※この料金以外に、団体料金や常設展とのセット料金等があります。

### ▼「歌川広重 二つの東海道五拾三次」展 講演会【無料】

江戸から京へ。広重東海道五拾三次、臥遊の旅。

日 時：4月17日（土）14：00～（約90分）

講 師：堀じゅん子氏（札幌大谷大学教授）

会 場：当館講堂（事前申込 定員30名 聴講無料）

申 込：3月23日（火）より電話受付

### ▼常設展 「匠の美」展【有料】

期 間：4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立旭川美術館 第2展示室

内 容：木は、樹種によって異なる色や硬さを持ち、さまざまな木目が自然の紋様となります。木を素材とする作家たちは、木の特性を生かし、指物、曲物、木象嵌、寄木などの多様な技法によって唯一無二の作品を制作しています。本展では、そうした創意と工夫を凝らした匠の美を紹介します。

常設展観覧料：一般260円、高大生150円

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※土曜日は高校生は無料となります。

※この料金以外に、団体料金や特別展とのセット料金等があります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

4月の休館日：1日（木）～16日（金）、19日（月）、26日（月）

【お問合せ】

北海道立旭川美術館（〒070-0044 旭川市常磐公園内）

電 話 0166-25-2577

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/abj/top.htm>

## 道立函館美術館4月事業のご案内

▼特別展「海と山との対話」

期 間：2月6日（土）～4月4日（日）

場 所：函館美術館特別展示室

内 容：当館のコレクションから、海や山をモチーフとする作品をご紹介します。田辺三重松、池谷寅一、国松登らのアーティストたちが、道南をはじめとする風景や自然の魅力に触発されて生み出した作品をご堪能ください。

観覧料：一般510（410）円、高大生300（200）円、65歳以上及び中学生以下無料（要保護者同伴）

※（ ）内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、及び10名以上の団体料金

▼特別展 「北海道立近代美術館 友田コレクション × 荒井記念美術館 ピカソ・コレクション 西洋版画の魅力」

期 間：4月24日（土）～6月20日（日）

（前期：4月24日（土）～5月23日（日））

場 所：函館美術館特別展示室

内 容：北海道立近代美術館が所蔵する「友田コレクション」は、詩人で児童文学者の

友田多喜雄氏が収集した、シャガールやルオー、マチスなどの作品を含む近現代の名作版画コレクションです。一方、岩内町にある一般財団法人荒井記念美術館のピカソ・コレクションも、故・荒井利三氏が収集した国内屈指のコレクションです。本展では、これら二つのコレクションから、西洋版画の名品約450点をご紹介します。

観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円  
※( )内は前売、リピーター割引、どうなんアートリンク、及び10名以上の団体料金

▼ミュージアム・コレクション（常設展）

「鷗亭と白秋」「アートの『キラキラ』」

期 間：2月6日（土）～4月4日（日）

場 所：函館美術館常設展示室、鷗亭記念室

内 容：「鷗亭と白秋」では、国民的詩人である北原白秋の詩による鷗亭の書をご紹介します。

また、「アートの『キラキラ』」では、燃えさかる炎、きらめく水、黄金の輝きといった「キラキラ」をテーマとした当館のコレクションの名品をご覧ください。

▼ミュージアム・コレクション（常設展）

「没後20年 金子鷗亭 天来と鷗亭」「没後50年 田辺三重松」

期 間：4月24日（土）～9月26日（日）

場 所：函館美術館鷗亭記念室、常設展示室

内 容：「没後20年 金子鷗亭 天来と鷗亭」では、現代書の世界を切り拓いた金子鷗亭と、その師である比田井天来の書をご覧ください。

4月24日（土）から6月20日（日）までは、当館鷗亭記念室において当館所蔵の蠣崎波響の作品をご紹介します「特別展示 蠣崎波響」も開催いたします。

また、「没後50年 田辺三重松」では、北海道の自然や函館の街などを大らかな筆致で描き、独自の画風を確立した田辺三重松の没後50年を振り返り、彼の代表作をご紹介します。

ミュージアム・コレクション（常設展）観覧料：

一般260(210)円、高大生150(110)円

※( )内は10名以上の団体料金

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

4月の休館日：5日（月）～23日（金）、26日（月）

**【お問合せ】**

北海道立函館美術館（〒040-0001 函館市五稜郭町37-6）

電話0138-56-6311

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hbj/>

道立帯広美術館は令和3年9月22日をもって開館30周年を迎えます。

**道立帯広美術館4月事業のご案内**

▼特別展「手島圭三郎 絵本原画展 森といのちの交響詩」【有料】

期 間：令和3年4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

内 容：版画家、手島圭三郎（1935-）による北海道の野生動物を主人公にした絵本は、木版画表現の力強さと繊細さを兼ね備え、国内外で高い評価を受けています。絵本原画にあらわれた、大自然の神秘とロマンティシズムに満ちた世界をご紹介します。

観覧料：一般700円、大学生400円、高校生以下無料

※高校生以下無料（帯広美術館ボランティア「しらかばの会」2021年度無料招待事業）

※この料金以外に、団体料金やコレクション・ギャラリーとの共通観覧料金、リピーター料金などがあります。

※障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

▼特別展セミナー【有料／「手島圭三郎 絵本原画展 森といのちの交響詩」展 観覧料】

日 時：令和3年4月24日（土）14：00～（約40分）

場 所：道立帯広美術館 主展示室

講 師：道立帯広美術館学芸員

定 員：先着25名

▼コレクション・ギャラリー「子どものイメージ」【有料】

期 間：令和3年4月17日（土）～6月27日（日）

場 所：道立帯広美術館 コレクション・ギャラリー

内 容：当館所蔵作品の中から、子どもをテーマとしたポスター・版画・油彩画を紹介します。表現された子どもたちの様々なしぐさ・表情をご覧ください。

コレクション・ギャラリー（展覧会）観覧料：一般260円、高大生150円

※この料金以外に、団体料金や特別展との共通観覧料金があります。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※高校生は、毎週土曜日が無料となります。

#### ▼開館30周年記念事業

日 時：令和3年4月17日（土）～令和4年3月13日（日）

内 容：平成3（1991）年生まれの方、9月22日生まれの方に通年で特別展の招待券をプレゼントします。

#### ○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

4月の休館日：1日（木）～16日（金）、19日（月）、26日（月）

#### 【お問合せ】

北海道立帯広美術館（〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地）

電 話 0155-22-6963

ホームページ <http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/obj/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/do.obimu>

## 道立北方民族博物館4月事業のご案内

#### ▼常設展示「北方民族の文化とオホーツクの文化」【有料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立北方民族博物館 常設展示室

内 容：世界各国から集めた約900点の資料を、衣食住・生業等のテーマ別に展示し、北方に暮らす人びとの文化を紹介しています。

観覧料：一般550円、高大生200円、小中生・65歳以上無料

※小中生、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料です。

※毎週土曜日は高校生は無料となります。

#### ▼企画展「"アマゾン博士"の北方紀行：山口吉彦氏旧蔵・北方民族コレクションより」 【無料】

期 間：2月6日（土）～4月4日（日）

場 所：道立北方民族博物館 特別展示室

内 容：アマゾン民族館元館長の山口吉彦氏が収集した北方関連資料を紹介します。

#### ▼ロビー展「A.V. スモリャーク写真展 ロシアの民族学者がみた1950～70年代のナーナイの暮らし」【無料】



期 間：4月24日（土）～5月23日（日）

場 所：道立北方民族博物館 ロビー

内 容：ロシアの民族学者A.V. スモリャーク氏がロシア・ハバロフスク地方で撮影したナーナイの写真を紹介します。

▼はくぶつかんクラブ「動物刺繍のマイバック」【無料】

日 時：4月17日（土）10：00～12：00

場 所：道立北方民族博物館 講堂

定 員：先着12名（要申込）

内 容：北方の動物をバッグに刺繍します。

講 師：石原 生久代（当館解説員）

○お知らせ

開館時間：9：30～16：30

4月の休館日：5日（月）、12日（月）、19日（月）

【お問合せ】

北海道立北方民族博物館（〒093-0042 網走市字潮見309番地1）

電話0152-45-3888

<http://hoppohm.org>

## 道立文学館4月事業のご案内

▼特別展「太宰治－創作の舞台裏」【有料】

日 時：4月17日（土）～6月6日（日）

場 所：道立文学館特別展示室

内 容：青森県北津軽郡金木村（現・五所川原市）に、大地主の6男として生まれた太宰治は、その出自と肉親との複雑な関係などに苦悩し、破滅的な生活を送りながらも39年の短い生涯において多くの作品を残しました。とりわけ晩年の名作「斜陽」、「人間失格」をはじめとする数々の作品は、時代を超えた感性をそなえ、世代や性別を問わず幅広い読者を得ています。

本展では、日本近代文学館の「太宰治文庫」を中心に厳選した直筆原稿やノートなどの資料により、作品が生み出されるまでの「創作の舞台裏」を紹介します。

なお、今回公開する「お伽草紙」の完全原稿は、一昨年、存在が明らかになり、東京に続いて2番目の公開となります。

観覧料：一般700円、高大生・65歳以上450円、小中生300円

▼みどころ解説【無料】

日 時：4月22日（木）14：00～（約30分）

開 場：道立文学館講堂

定 員：25名（申込不要；先着）

講 師：道立文学館学芸員

▼常設展「北海道の文学」【有料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立文学館常設展示室

内 容：明治以降150年の歴史の中で育まれてきた北海道の文学。小説、詩、短歌、俳句、川柳、またアイヌ民族の口承文芸、さらには児童文学や評論、随筆など、それぞれの分野に珠玉の作品が生まれました。その担い手としてパイオニア精神を発揮した多くの文学者と、今なお読み継がれている多くの作品の光と影とが、常設展示室に漂っています。

○常設展アーカイヴ 文学者たちの愛した品々【有料／常設展観覧料】

期 間：4月10日（土）～7月4日（日）

場 所：道立文学館常設展示室内

常設展観覧料：一般500円、高大生250円。

※中学生以下、65歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方などは無料

※高校生は土曜日は無料となります。

○お知らせ

開館時間：9：30～17：00（展示室への入場は16：30まで）

4月の休館日：5日（月）、12日（月）、19（月）、26日（月）

【お問合せ】

北海道立文学館（〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4）

電話011-511-7655

<http://www.h-bungaku.or.jp>

## 道立釧路芸術館4月事業のご案内

▼展覧会「旅とアート 巡る・還る（めぐる・めぐる）」【有料】

期 間：2月6日（土）～4月11日（日）

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：芸術家の着想源として、旅は重要な役割を果たしてきました。彼らが異郷で見聞きすることは創作の糧となり、作品を見る私たちも遠くへと連れていってくれます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により国内外への移動に制限が課せられる中、遠くの地を目指すのではなく身近な場所を訪れる新たな旅のスタイルが生まれています。故郷を見つめて表現する芸術家の作品は、この状況において私たちが地域の魅力を改めて認識するための手がかりになるのではないのでしょうか。

本展では、遠くを志し各地を旅する「巡(めぐ)る」、今この地を振り返り見つめなおす「還(めぐ)る」をキーワードに、当館のコレクションをご覧ください。

観覧料：一般460円、高大生200円、中学生以下と65歳以上は無料、高校生は毎週土曜日が無料

※このほか、10名以上の団体、親子、リピーター料金があります。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

※なお、釧路・根室管内在住の高校生は、無料です。

(釧路芸術館ボランティアの会SOA招待事業「そあっこ」)

※また、障害者手帳等をお持ちの方も無料で観覧できます。

▼「旅とアート 巡る・還る」展ギャラリーツアー【有料／本展観覧料】

日 時：4月3日(土)、10日(土) 各日14:00～

会 場：道立釧路芸術館 展示室

ご案内：当館学芸員

▼展覧会「木島誠悟 絵本のひみつ」【無料】

期 間：2月6日(土)～4月11日(日)

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：釧路を拠点に活動するアートディレクター木島誠悟(1949生)は、『キリンのあかちゃんがうまれた日』『わたしはマリモ』など、釧路地域を題材にした絵本を手がけてきました。あたたかな眼差しと絵心あふれる原画などを展示し、絵本創作の魅力に迫ります。

▼展覧会「Botanical Kingdom 花と樹の王国」【有料】

(アートギャラリー北海道関連事業)

期 間：4月24日(土)～6月30日(水)

会 場：道立釧路芸術館 展示室

内 容：草、花、樹木は、心をいやしてくれる不思議な「ちから」をそなえています。美術においても重要なモチーフとして古来、表現されてきました。 日本画、

油彩、水彩、版画、写真、化石、約200点により、圧倒的存在感を放つ花樹草木の世界をご堪能ください。

観覧料：一般900円、高大生400円、小中生100円

※このほか、10名以上の団体、親子、リピーター料金があります。

詳しくは、当館ホームページでご確認ください。

※なお、釧路・根室管内在住の中学生以下は、無料です。

(釧路芸術館ボランティアの会SOA招待事業「そあっこ」)

※また、障害者手帳等をお持ちの方も無料で観覧できます。

▼「Botanical Kingdom 花と樹の王国」展アーティスト・トーク【有料／本展観覧料】

日 時：4月24日(土) 11:00～12:00

会 場：道立釧路芸術館 展示室

講 師：安積 徹 氏(日本画家)

チェロ演奏：小粥 麻莉菜 氏(東京音楽大学2年)

▼新収蔵展示 奈良原一高の写真【無料】

期 間：4月24日(土)～6月30日(水)

会 場：道立釧路芸術館 フリーアートルーム

内 容：世界各地のさまざまな場取材し、人間が生きる諸相を撮影した写真家・奈良原一高(1931～2020)。昨年度受贈した149点のなかから〈人間の土地〉、〈ヨーロッパ・静止した時間〉、〈ヴェネツィアの夜〉など初期から80年代までを中心とする代表的なシリーズ作品をご紹介します。

▼アートシネマ館【無料】

日 時：4月10日(土) 10:00～／14:00～(2回上映)

上映作品：「L I O N (ライオン) 25年目のただいま」2017年／オーストラリア  
・アメリカ・イギリス合作／カラー／119分

監 督：ガス・デイヴィス

会 場：道立釧路芸術館 アートホール

定 員：当日先着100名(各回)

○お知らせ

開館時間：9:30～17:00

4月の休館日：5日(月)、12日(月)～23日(金)、26日(月)

※催し物は特記がない場合、申し込み不要です。

【お問合せ】

北海道立釧路芸術館(〒085-0017 釧路市幸町4-1-5)

電話：0154-23-2381

<http://www.kushiro-artmu.jp>

## 道立埋蔵文化財センター4月事業のご案内

### ▼常設展示「掘り出された北の歴史」展【無料】

期 間：4月1日～3月31日（通年）

場 所：道立埋蔵文化財センター 展示室

内 容：展示室では北海道の遺跡や出土遺物について紹介しています。素材の特性を生かしながら、どのように手を加え、利用してきたのか、さまざまな道具の中に北海道の大地に生きた先人の知恵と工夫の跡をご覧ください。

### ▼企画展示「(公財)北海道埋蔵文化財センター令和2年度調査成果展」【無料】

期 間：3月27日（土）～5月23日（日）

場 所：道立埋蔵文化財センター常設展示室・ホール

内 容：(公財)北海道埋蔵文化財センターが令和2年度に行った調査成果を紹介いたします。

### ▼報告会「(公財)北海道埋蔵文化財センター令和2年度調査報告会」【無料】

日 時：4月17日（土）13:30～15:30（予定）

場 所：道立埋蔵文化財センター 研修室

定 員：96名

内 容：(公財)北海道埋蔵文化財センターが令和2年度に行った調査成果を調査担当職員がスライドなどで紹介します。

講 師：(公財)北海道埋蔵文化財センター職員

### ○お知らせ

開館時間：9:30～16:30

4月の休館日：5日（月）、12日（月）、19日（月）、26日（月）

### 【お問合せ】

北海道立埋蔵文化財センター（〒069-0832 江別市西野幌685-1）

電話011-386-3231

<http://www.domaibun.or.jp/>